

# 宝子たち 胎児性水俣病に学んだ 50 年

原田正純 著

2009 年 10 月 30 日発行

## 目次

未来のいのち—まえがきにかえて

### 第Ⅰ部 子宮は環境

- 第一章 その頃、水俣と熊大では
- 第二章 宝子といわれて
- 第三章 遥か故郷を離れて
- 第四章 産むべきいのち
- 第五章 子宮は胎児を護ってくれない
- 第六章 枯葉剤はまかれた
- 第七章 へその緒と出会う
- 第八章 母は原爆を浴びた
- 第九章 母の胎内で被爆か

### 第Ⅱ部 生と死の闘い

- 第一章 ある女性水俣病患者の死
- 第二章 千鶴さん
- 第三章 せめて花嫁衣裳を
- 第四章 ふうてん

### 第Ⅲ部 医の倫理

- 第一章 いのちをつなぐ
- 第二章 子宮は環境ということ—胎児にとって公害も薬害も区別がない
- 第三章 戦争で使われた化学物質の影響
- 第四章 水俣における差別
- 第五章 ノーヒロシマ、ノーボパール
- 第六章 水俣学と環境倫理

あとがき

主要参考文献